

## まちの話題



大山

Oyama



## 志を持つことの大切さを伝えたい

10月25日、大山文化センターで、住民自治組織「大山すみい会」主催の「大山子育て講演会」が開催された。講師にバッカーズ寺子屋塾長の木村貴志さんを迎え、「考えが変わると子どもへの発言も変わる」というテーマで行われた。講演会には約90人が参加し、講師による「教育は子どもだけの問題ではなく、大人も学び成長することが大切である」といった内容に、参加者は熱心に聞き入っていた。

## 秋の夜長にジャズの調べ

10月22日、大山文化センターで、「博多ジャズオーケストラ定期演奏会」が開催された。今回で2回目となる演奏会には約230人が訪れた。第1部はホール内で演奏が行われ、ポピュラーな曲目など10曲が披露された。第2部は芝生広場のステージに移動して演奏が行われ、観客は実行委員会女性部が調理した栗おこわなどを食べながら、オーケストラの生演奏を楽しんだ。

上津江

Kamitsue



## ふれあいカフェ開催！

10月13日、住民自治組織「活き生きかみつえ」主催の「ふれあいカフェ」が上津江振興局内で開かれた。この取り組みは、自治組織のふれあい部会が計画。お菓子などを持ち寄りコーヒーを飲みながら地域のことを話したり、講師を招き話を聞いたりするもので、リラックスした雰囲気の中、行われている。今回、大分県済生会日田病院の林田良三院長による地域医療などの話に参加者は耳を傾けていた。

## 霧の中のママチャリレース！

10月9日、オートポリスで恒例の「ママチャリワールドグランプリ」が開催された。このレースは、家族や職場などそれぞれのチーム編成で、サーキットコースを走るというもの。競技では周回した回数を、パフォーマンス部門では思い思いの衣装を競った。深い霧に包まれたこの日、市内から参加した5チームを含む、昨年より多い75チームが、息を切らしながらも非日常的なレースを楽しんだ。



日田

Hita

多くの観客で賑わった  
「マイナビ ツール・ド・九州2023」

九州・山口で一丸となり、世界に発信できる国際スポーツ大会として、UCI(国際自転車競技連合)公認レース「マイナビ ツール・ド・九州2023」が10月6日から9日に開催され、大分ステージとなった最終日(9日)は、オートポリスをスタートして、大原八幡宮前をゴールとする約129kmのレースが展開された。

大分ステージでは、海外8チームを含む18チームの世界有数の自転車ロード選手87人が参加。コース沿道では約2万7,000人の人々が熱い戦いを見守り、ゴール付近では多くの観客が集まり、声援を送っていた。観戦をした人からは「すごいスピードにびっくりした」「こんな大きな大会が日田で観られるなんて!」などの声も聞かれた。

